

フレックスパイプ 納まり図

弊社製品『ロールパイプ』は図.1、図.2に記載する納まりに対応しておらず、梁成を大きくする必要がありました。本製品『フレックスパイプFP-140』、『フレックスパイプFP-260』をご使用いただくと梁成を上げずに納めることができます。ご使用の際は必ず以下の注意事項をご確認ください。

①フレックスパイプFP-140の注意事項

ドリフトピン孔またはボルト孔加工の際は、図.1をご確認いただき、必ず記載の寸法の通りに加工してください。

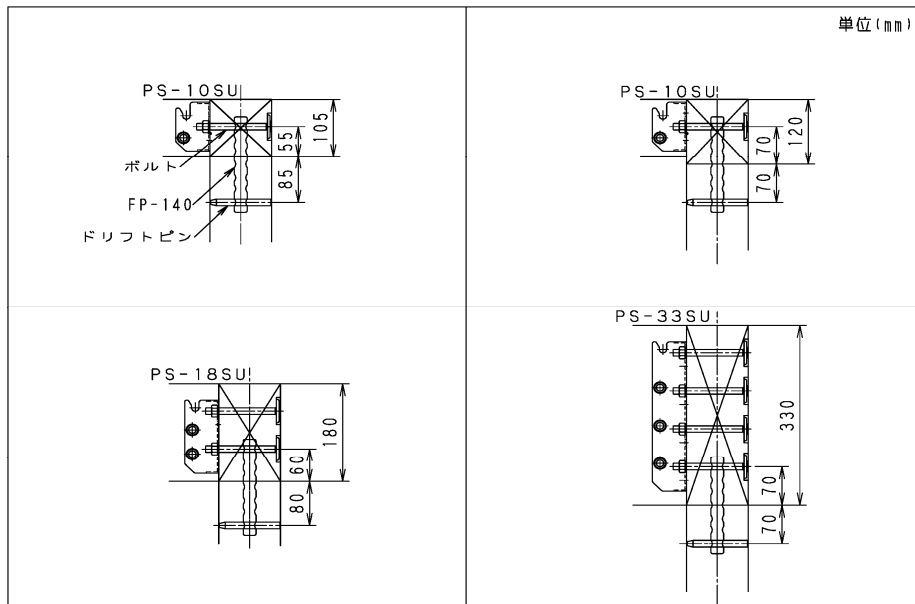


図.1 フレックスパイプ FP-140の納まり

②フレックスパイプFP-260の注意事項

ドリフトピン孔またはボルト孔加工の際は、図.2をご確認いただき、必ず記載の寸法の通りに加工してください。梁の上端に刻印線を合わせて本製品を差し込み、ドリフトピン又はボルトで柱と接合してください。本製品が対応する梁成は105mm及び120mmとなります。

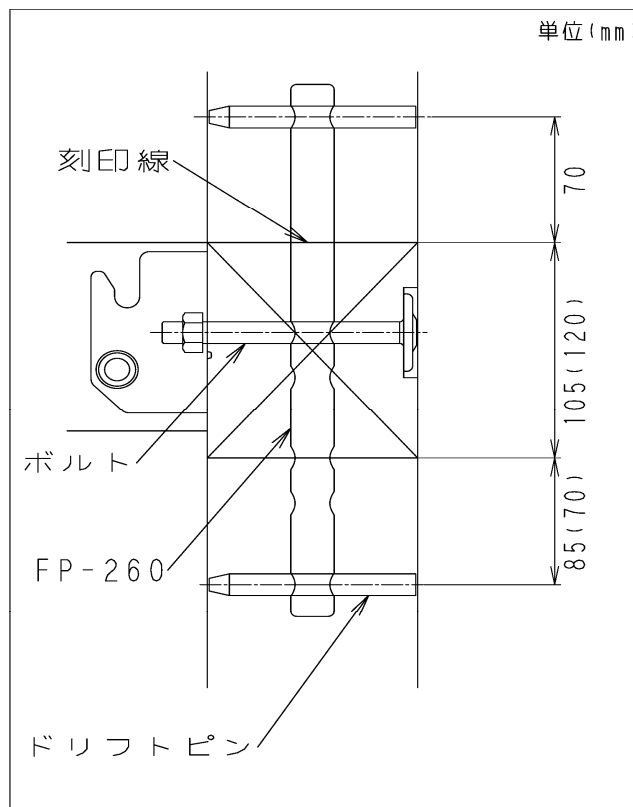


図.2 フレックスパイプ FP-260の納まり

()内の寸法値は梁成が120mmの時の値です